

ORION

進化したジェットヒーター
JET HEATER
SINCE 1965

取扱説明書

ジェットヒーター用オプション部品

タイマ



この製品は「産業用」です。取り扱いには十分注意してください。
この取扱説明書をよく読んで正しくお使いください。
取扱説明書は必ず保管しておいてください。

03108648010

はじめにお読みください

このたびは、オリオン製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
より安全に、また良好な状態でお使いいただくために、この「取扱説明書」をお読みになり、正しく
お使いください。

安全上のご注意

ご使用の前に「安全のため必ずお守りください」をよくお読みの上、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

注意事項は、 **危険**  **警告**  **注意**に区分して表示してあります。



危険

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重症を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定されるもの




警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重症を負う可能性、または火災の可能性が想定されるもの









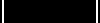
注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や、物的損害の発生が想定されるもの

また、 **注意**の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

- ・取扱説明書をお読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
- ・お使いになっている製品を譲渡されたり、貸与されるときには、新しく所有者となられる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つところに添付してください。

図記号について

	 記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれているものは、その行為を表します。
	 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれているものは、その行為を表します。
	 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれているものは、その行為を表します。
重要事項	 記号は、警告・注意以外の重要な事項を示します。



も く じ

⚠安全のため必ずお守りください	3
各部のなまえ	4
使用前の準備	5
使い方	8
点検のしかた	9
アフターサービス	9
仕様	9


安全のため必ずお守りください

使用上の注意（警告／注意）

警告

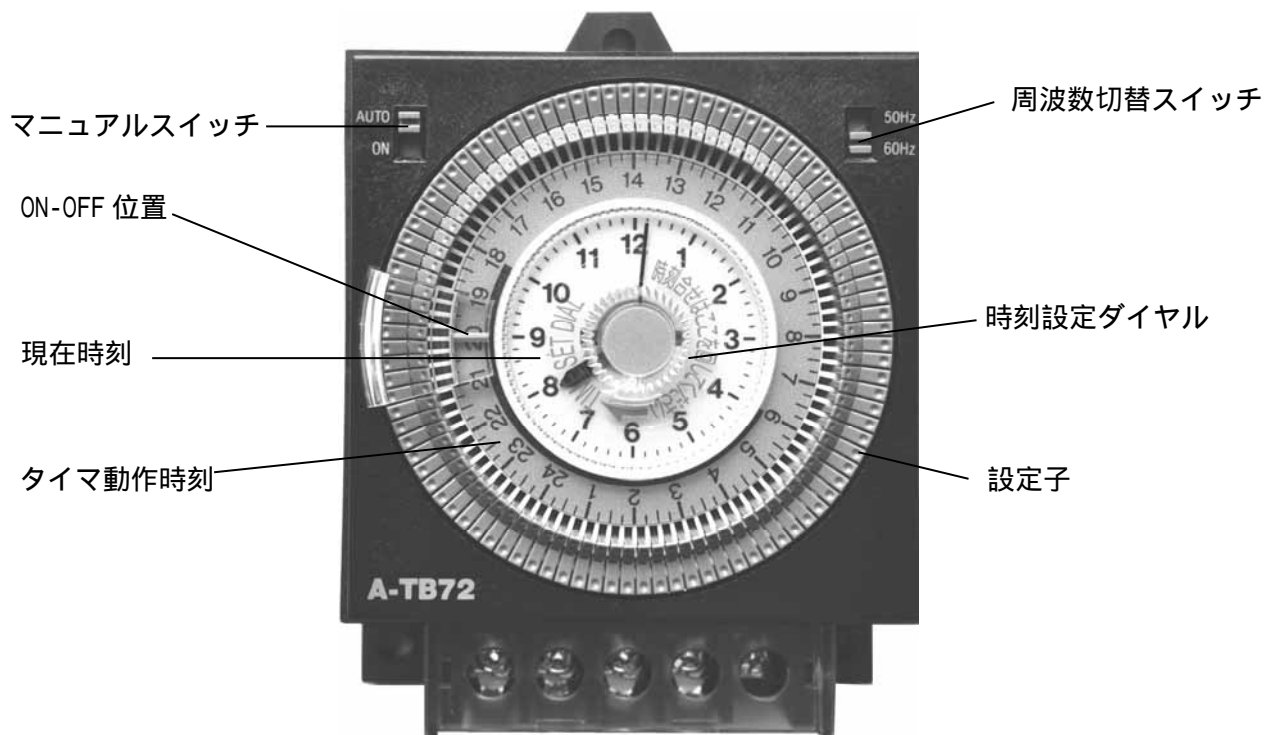
	<p>タイマを接続する際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。 感電の恐れがあります。</p>
	<p>バーナーカバーやバーナー点検蓋を取り付けるとき、コード等を挟みこまないようにしてください。 感電の恐れがあります。（Bタイプ、Cタイプの接続コードの場合） タイマは防滴、防塵構造ではありません。水や塵埃のかからない場所へ設置してください。 漏電の恐れがあります。</p>

注意

	<p>タイマは丈夫な壁等に固定してください。 落下してけがをする恐れがあります。 タイマを取り付けて運転すると、自動的に点火・消火を繰り返します。ヒーターを使用しない時は、必ず運転スイッチを「切」にして電源プラグをコンセントから抜いてください。 火災の原因になります。 タイマが正しく作動する事を定期的に点検してください。 予期せぬ温度の低下・上昇の恐れがあります。 対象物の特性に合わせ、安全装置を設置してください。 タイマの誤作動やヒーターの故障等により、予期せぬ温度の上昇・低下の恐れがあります。対象物の特性に合わせて、安全装置を設置してください。 ヒーターの熱風又は赤外線が当たる場所に取り付けしないでください。 過熱してタイマの焼損や火災などの原因となります。</p>
---	--

各部のなまえ

各部のなまえ(保護カバーを取り外した状態)



使用前の準備

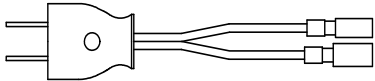
接続方法

接続方法

1. 接続コードを選ぶ

お使い頂いているヒーターの機種によって、タイマ本体とヒーターの間を接続するコードが異なります。同梱されている4種類の接続コードから選んでください。

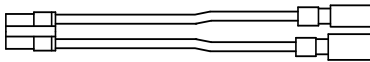
Aタイプの接続コード



適用機種

HPS80C, HPS80D, HPC80, HP160, HPE150A, HPS250C, HPS250D, HPE250, HPS310D-L, HPS310E-L, HPS310F-L, HPE310-L, HP350-L, HPS310D, HPS310E, HPD36-L, HPS360, HPE370, HPS830, HPS830A, HS270-L, HS290-L, HEA170D, HEA170E, HEA170D-B, HEA170E-B

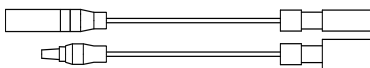
Bタイプの接続コード



適用機種

HR120C, HR120D, HR220A, HR220A-L, HR330F, HR330G, HR330H, HRS330, HR330D-L, HR330E-L

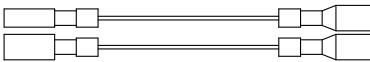
Cタイプの接続コード



適用機種

HPE80, HPE80A, JH80A

Dタイプの接続コード



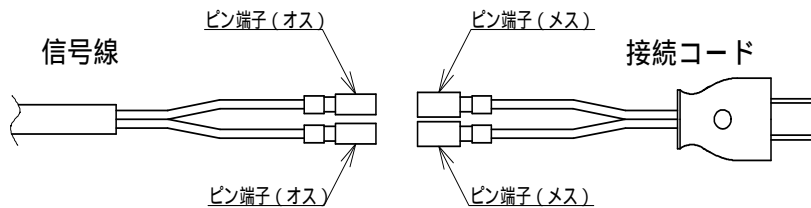
適用機種

上記以外の機種（必要に応じてご使用ください）

2. 接続コードとタイマ本体の接続

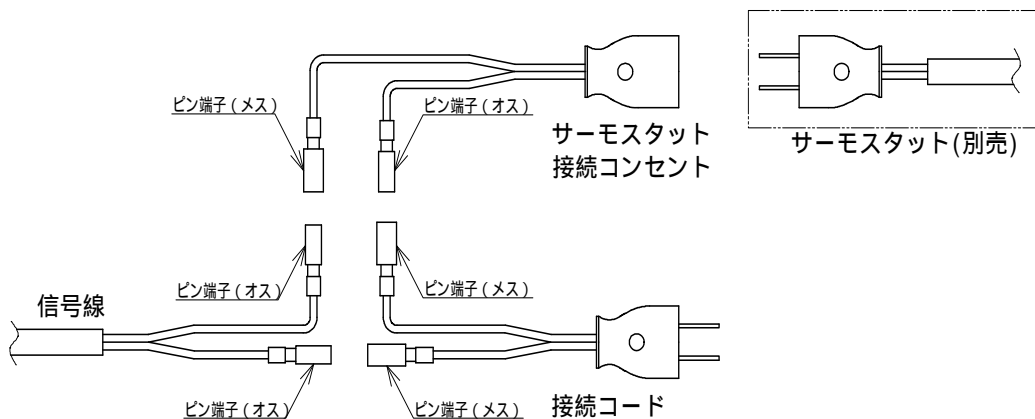
(1) タイマだけを使用する場合

選んだ接続コードのピン端子をタイマ本体のピン端子と接続してください。



(2) タイマとサーモスタットを同時に使用する場合

選んだ接続コードと同梱のサーモスタット接続コンセントをタイマ本体のピン端子に接続してください。



使用前の準備

接続方法

3. タイマとヒーターを接続してください。

(1) Aタイプの接続コードの場合（写真は HPE370 の場合）

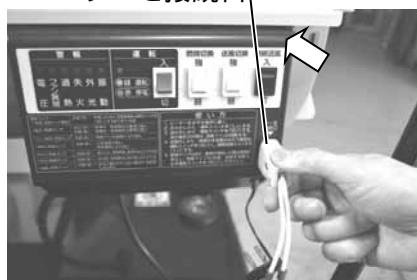
短絡プラグを外す。
スイッチパネルのサーモ接続口に付いている短絡プラグを取りはずす。

サーモ接続口 短絡プラグ



タイマのプラグを接続口に差し込む。
タイマに取り付けた接続コードのプラグをサーモ接続口へ差し込む。

サーモ接続口



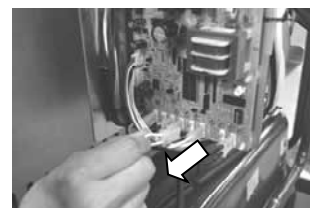
(2) Bタイプの接続コードの場合（写真は HR330E-L の場合）

バーナーカバーをはずす。
（HR330H, HRS330 の場合はバーナー点検蓋）

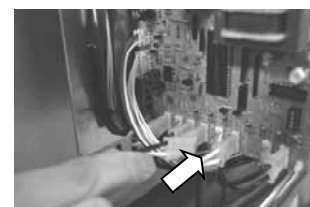
ネジをゆるめる



短絡コードをはずす。
バーナーコントローラの「サーモスタット」端子台に接続されている短絡コードを取りはずす。
（HR330H, HRS330 の場合は「タイマ」端子台）



タイマに取り付けた接続コードの接続を「サーモスタット」端子台へ差し込む。
（HR330H, HRS330 の場合は「タイマ」端子台）



バーナーボックスカバーを取り付ける。
（HR330H, HRS330 の場合はバーナー点検蓋）

使用前の準備

接続方法 / タイマ本体の設置

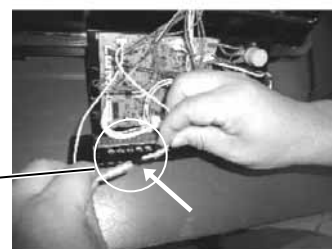
(3) Cタイプの接続コードの場合

コントロールボックスを開ける。



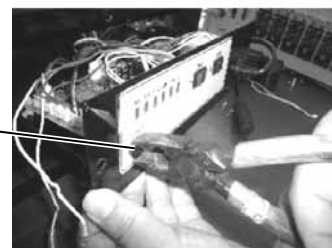
バーナコントローラの「サーモスタット」端子台に接続されているサーモ端子の接続部を外す。

サーモ端子の
接続部を外す



コードブッシュをコントロールボックスからペンチ等で外す。

コードブッシュ



サーモ端子をコードブッシュではさみ込み、コードブッシュを元の位置に取り付ける。

タイマに取り付けた接続コードをサーモ端子へ差し込む。



タイマ本体の設置

1. 外形寸法図 (10 ページ参照) を確認し、壁等に固定する。
 - (1) 表面取り付け
M4 ネジまたは木ねじ 3.8×16 (3 本) をご使用ください。
 - (2) DIN レール取り付け
35mmDIN レールをご使用ください。

使い方

運転方法

運転方法

1. 電源周波数を設定してください。
正面右上の周波数切替スイッチをマイナスドライバー等先細なもので切り替えてください。
2. 現在時刻を合わせてください。
必ず時刻設定ダイヤルを矢印方向（右）に回してください。
3. 動作時刻を設定してください。
ON 設定：タイマの設定子を内側に倒す。ダイヤル外周部に赤色が現れます。
OFF 設定：タイマの設定子を外側に倒す。ダイヤル外周部の赤色が隠れます。
設定子はクリックアクション「カチッ」音があるまで十分倒してください。
ツメ 1 本で 15 分間運転します。
4. マニュアルスイッチを設定してください。
タイマによる運転と停止を行うには、「AUTO」にセットしてください。
「ON」にセットした場合、設定子の動作時刻のセットに関係なく ON 状態になります。

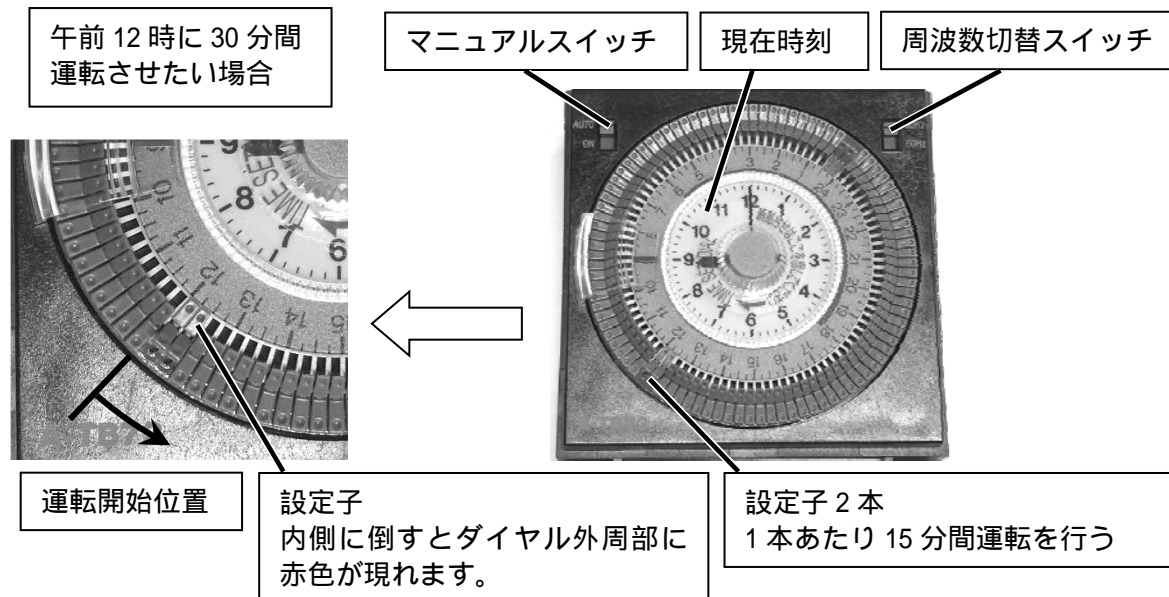
設定例

周波数：50Hz

時計：AM9：00 を示しています。

運転開始時刻：12 時、24 時に設定されています。

運転時間：30 分間運転します。



⚠ 注意

タイマを取付けて運転すると、自動的に点火・消火を繰り返します。ヒーターを使用しない時は、必ず運転スイッチを「切」にして電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因になります。

重要事項

炎監視装置が装備されていない旧型ヒーターは本タイマを使用できません。

点検のしかた

1ヶ月に1回以上

1ヶ月に1回以上

1.動作の確認

1ヶ月に1回以上、タイマ動作に合わせてヒーターが点火・消火する事を確認してください。

アフターサービス

アフターサービスの依頼

- 点検、修理をお申しつけのときは、次の事項を、お買い上げの販売店にお知らせください。
製品名（接続のヒーター） 現象（できるだけ詳しく） 住所、電話番号

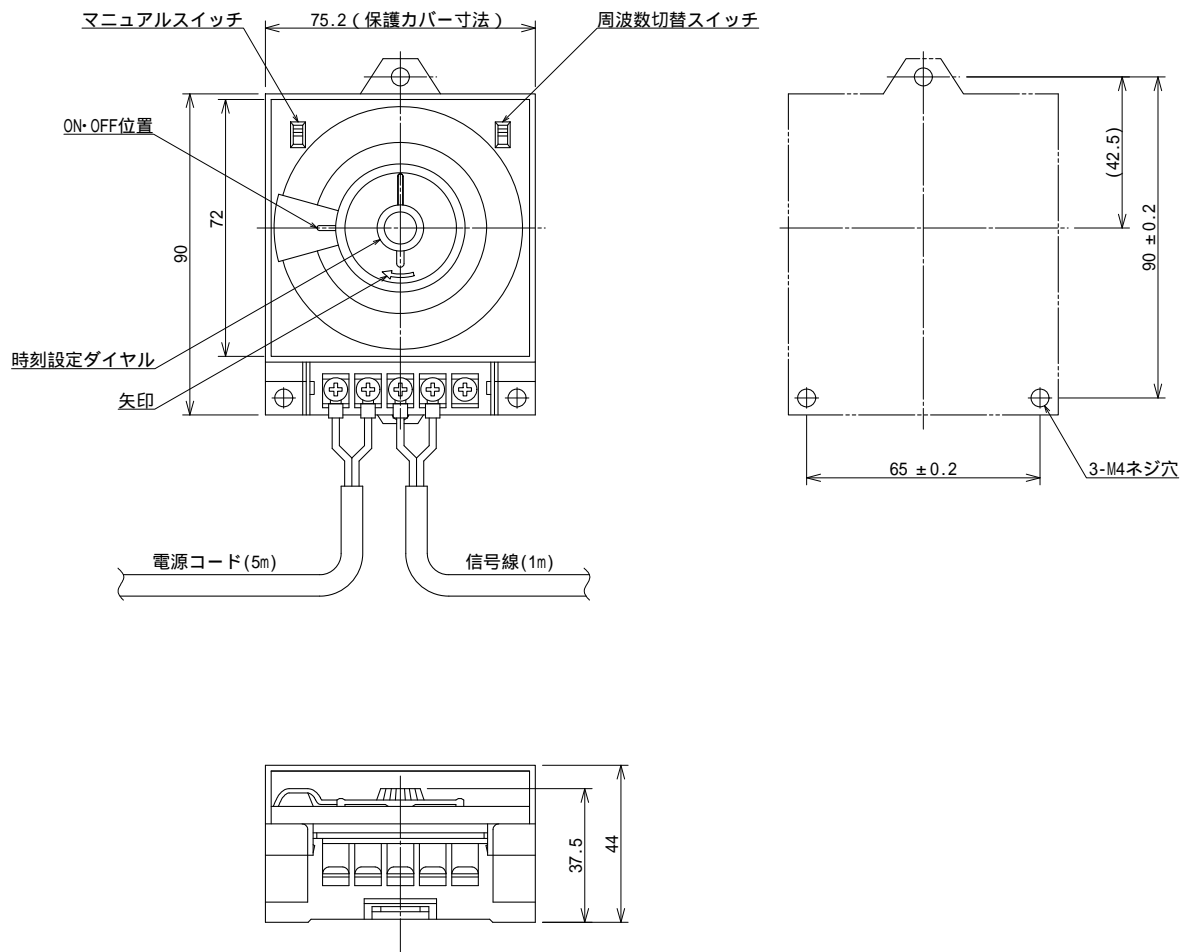
仕様

仕様表

品名	タイマ
品番	03037841010
操作電圧	AC100V
周波数	50/60Hz
最小設定間隔	15分
出力切替	手動ON / AUTO（タイマ動作）
消費電力	1.5W以下
使用周囲温度	-10～+50
使用周囲湿度	45～85%RH（at25、結露なきこと）
電源線長さ	5m
信号線長さ	1m
付属品	・ヒーター接続コード Aタイプ（ジェットヒーター用） Bタイプ（ブライトヒーター用） Cタイプ（HPE80系用） Dタイプ（その他用） ・サーモスタット接続コンセント ・取扱説明書（本書）

仕様

外形寸法図



保証書

本製品の保証内容は、下記のとおりです。保証修理をお受けになる場合は、機種名と製造番号をご確認のうえ、お買い上げの販売店へご連絡ください。

1. 保証期間

お買い上げ後 1年間

2. 保証範囲

- (1) 上記保証期間中に当社側の責任による故障が発生した場合は、製品の故障部分の交換または修理を無償で実施いたします。ただし、ご使用される国・地域によっては修理対応ができない場合や時間を要する場合がありますので、日本国外で修理をお受けになる場合は、お買い上げの販売店に別途ご相談ください。
- (2) 取扱説明書の故障診断に沿った確認は、原則としてお客様にて実施をお願いいたします。ただし、ご要望により当社サービス網がこの業務を代行することができます。この場合、故障原因が当社側にある場合は無償といたします。
- (3) 保証期間内であっても、以下の場合は有償修理（保証対象外）とさせていただきます。
仕様書・取扱説明書に記載されている以外の不適切な使用条件・環境・取扱い・使用方法・用途、およびお客様の不注意や過失等に起因する故障
当社製品以外（お客様の装置やソフトウェアの設計等）の原因による故障
当社指定サービス業者以外による修理や改造に起因する故障
当社製品がお客様の装置に組み込まれて使用された場合、お客様の機器が受けている法的規制による安全装置、または業界の通念上備えられているべきと判断される機能・構造等を備えていれば回避できたと認められる故障
取扱説明書に記載された定期点検や消耗部品の保守・交換が正常に実施されていれば回避できたと認められる故障
消耗部品（点検および定期交換部品）の交換
火災等の不可抗力による外部要因、および地震・雷・風水害等の天変地異による故障
当社出荷時の科学技術の水準では予見できなかった事由による故障
腐食性ガス・有機溶剤・化学薬品溶液等の雰囲気、およびこれらが付着する可能性のある環境下での使用による製品腐食に起因する故障
- (4) 個別契約等にて別途定めがある場合は、それを優先いたします。

3. 保証責務の除外

保証期間を問わず、当社の責に帰すことができない事由から生じた障害・事故補償、当社製品の故障に起因するお客様での機会損失・逸失利益・二次損害・当社製品以外への損傷、およびお客様による交換作業・現地機械設備の再調整・試運転業務に対する補償については、保証責務外とさせていただきます。

4. 用途限定

- (1) 本製品を重要な設備に適用する際は、本製品が故障しても重大な事故や損失に至らないように、バックアップやフェールセーフ機能を設備側に設けてください。
- (2) 本製品は、一般工業向けの汎用品として設計・製造されています。したがって、下記のような用途は保証適用外とさせていただきます。ただし、お客様の責任において製品仕様をご確認のうえ、必要な安全対策を講じていただく場合には適用可否について検討いたしますので、当社までご相談ください。
原子力・航空・宇宙・鉄道・船舶・車両・医療機器・交通機器等、人命や財産に多大な影響が予想される用途
電気・ガス・水道の供給システム等、高い信頼性や安全性が要求される用途



Product Warranty

This product shall be warranted as follows. For warranty repairs, please contact the dealer where the product was sold after confirming the product model and serial number.

1. Warranty Period

- (1) One year from the date of purchase.

2. What Is Covered by this Warranty

- (1) If breakdown occurs within the above warranty period and the cause of the breakdown lies with ORION, then the damaged part(s) will be replaced or repaired by ORION free of charge. Note that depending on the country/region where the product is being used, repairs may take more time or be impossible. Please consult with your dealer in advance regarding service and repair options for products to be operated outside of Japan.
- (2) In principal, the owner of the product will confirm diagnosis of the breakdown according to the operating manual. However, there might be cases where this work may be carried out instead by a member of ORION's service network. In such cases, there will be no charge where the cause of the breakdown lies with ORION.
- (3) Note that even during the warranty period, there will be costs incurred by the user (outside the warranty) in the following cases:
Breakdown resulting from operating under unsuitable operating conditions, environment, handling, use, or method of operation outside those written in the specifications or operating manual of the product, or as a result of carelessness or negligence on the part of the user.
Breakdown resulting from non-ORION products (user's own equipment or software design, etc.).
Breakdown resulting from repairs or modifications conducted by non-ORION designated contractors.
Breakdown which could be recognized as being avoidable in cases where an ORION product is used in conjunction with the user's equipment where the user's equipment is legally regulated to have a safety device whereby inclusion of the safety device could have averted breakdown, or in cases where the addition of function, structure, etc., could have, according to common knowledge of the industry, averted breakdown.
Any breakdown which is recognized as being avoidable had normal fixed term inspections, and/or normal maintenance and replacement of consumables, been performed as indicated in the operating manual, etc.
Replacement of consumables (parts to be replaced at fixed terms or based on inspection).
Breakdown due to external factors beyond human control such as fire etc., or breakdown resulting from natural disaster such as earthquake, lightning, storm and flood damage, etc.
Breakdown due to reasons unforeseeable due to the technological standard at the time the product was shipped from ORION.
Any breakdown resulting from corrosion caused by operating the product in an atmosphere that contains corrosive gases, organic solvents, chemical solutions, etc., or in an environment where such substances could come into contact with the product.
- (4) In cases where a separate contract, etc. has been established, that contract will take priority.

3. Warranty Obligation Exclusions

Regardless of the warranty period, compensation for any of the following will not fall under the obligations of this warranty: any hindrance or accident compensation resulting from reasons not under ORION's obligations; any lost opportunities, lost profit, secondary losses, damages to non-ORION products incurred by users resulting from the breakdown of ORION products; and any replacement work, readjustment of on-site machinery and equipment, and operating work by users.

4. Product Use Limitations

- (1) When using ORION products in connection with important facilities, be sure to establish backup and/or failsafe measures so that even in the event of breakdown of such products, such breakdown will not lead to serious accidents or losses.
- (2) ORION products are designed and produced as general purpose equipment to be used in general industrial applications. Therefore, this warranty will not apply when used in the following applications: However, in cases where the customer/user takes full responsibility and confirms the performance of the product in advance, and takes necessary safety precautions, please consult with ORION and we will consider if use of the product in the desired application is appropriate.
Atomic energy, aviation, aerospace, railway works, shipping, vehicles (cars and trucks), medical applications, transportation applications, and/or any applications where it might have a great effect on human life or property.
Electricity, gas, or water supply systems, etc. where high levels of reliability and safety are demanded.

ORION MACHINERY CO., LTD.



オリオン機械株式会社

<http://www.orionkikai.co.jp>

サービスに関するお問い合わせは

CSセンター TEL 026-245-1263 FAX 026-245-5358
〒382-8502 長野県須坂市大字幸高246
E-mail: sijo@orionkikai.co.jp

- 北海道地区統括 北海道オリオン株式会社 TEL 011-865-3666
- 東北地区統括 東北オリオン株式会社 TEL 022-284-0691
- 北関東地区統括 東日本オリオン株式会社 TEL 0276-46-7678
- 南関東地区統括 東日本オリオン株式会社 TEL 045-934-7011
- 甲信越地区統括 東日本オリオン株式会社 TEL 026-248-2428
- 東海・北陸地区統括 中部オリオン株式会社 TEL 0587-21-1717
- 近畿・中四国地区統括 関西オリオン株式会社 TEL 06-6305-1414
- 九州地区統括 西日本オリオン株式会社 TEL 092-477-8480

本社・工場 〒382-8502 長野県須坂市大字幸高246
更埴工場 〒387-0007 長野県千曲市大字屋代1291
千歳工場 〒066-0077 北海道千歳市上長都1051-16

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お買いあげ日		製造番号	
販売店名		店名	
		電話() -	

K No.2329 20161114 C T.G. J.F.